

発行元  
OSTEC EXHIBITION HALL  
**大阪科学技術館**  
〒550-0004 大阪市西区堀本町 1 丁目 8 番 4  
号 TEL:06 (6441) 0915 FAX:06 (6443) 5310  
http://www.ostec.or.jp/pp/

## テクノくんが行く！ 出展者訪問



# 宇宙航空研究開発機構



## スズテクノ新聞

vol. 39

# はやぶさ2

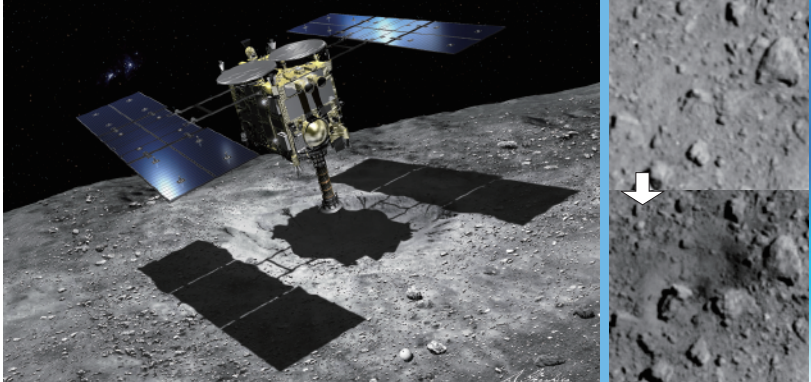
### 人類の手が新しい 小さな星に届く



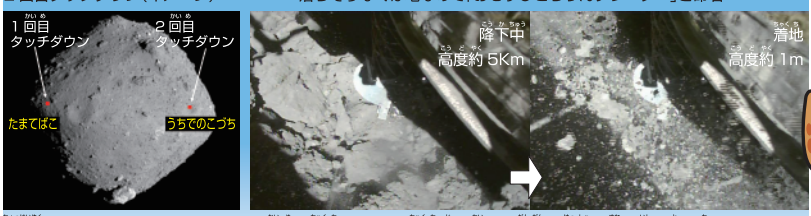
感動的な地球への帰還を果たしたはやぶさ2の後を継いで、地球や生命の起源と進化の解明に挑む「小惑星リュウグウ」へのミッションは無事終了した。世界に誇れるはやぶさ2のミッションに迫る!!



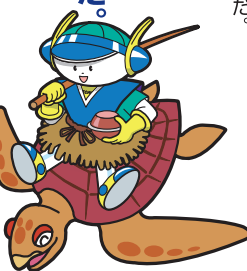
1 回目の着地のようす。右の「上昇」写真で地表から砂ほこりが上がっているのがわかる



はやぶさ 2 の人工クレーターを作る前(上)できた後(下)。おにぎりのような岩石が転がり落ちそうなくぼ地なので「おむすびころりんクレーター」と命名



2 回目の着地のようす。着地時の小さな弾丸の発射で砂や石が飛び散っているのがわかる

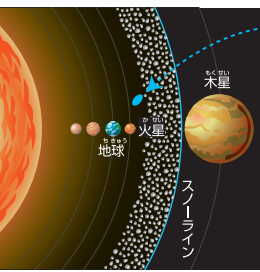


## 「はやぶさ2」の ミッション

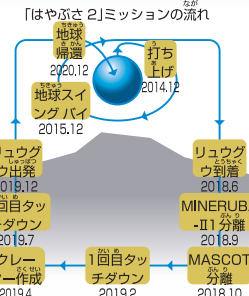
小惑星リュウグウまで行って、そのサンプル(石や砂など)を持って帰ってくる。リュウグウは、前回の「はやぶさ」が行った小惑星「イトカワ」よりも水や有機物が多いとあり、この小惑星のサンプルを調べれば、地球や海、生命の起源が分かるかも！って考えられているんだ。

## 「スノーライン」外からの奇跡

そもそも太陽の近くでは、水は水蒸気になり、遠くでは氷になっているんだ。その境目が火星と木星の間の「スノーライン」。ところで地球はそのスノーラインより太陽側だから、もともと水はなかったはず。地球が水の星になったのは、スノーラインの外側から氷った泥のかたまりが地球にぶつかって、水や命のもとを運んだって考えられていて、リュウグウはその手がかりを探しているんだ。なんかすごい話、宇宙ってロマンチック！



スノーライン外のどこからか、何かが



(国研)宇宙航空研究開発機構 広報部  
〒101-8008 東京都千代田区神田駿河台 4-6  
御茶ノ水ソラシティ(受付地下 1 階)  
TEL.03-5289-3600  
http://www.jaxa.jp/

## 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構って、こんな機関

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、2003 年に宇宙科学研究所(ISAS)、航空宇宙技術研究所(NAL)、宇宙開発事業団(NASDA)の 3 機関が統合して誕生しました。政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核の実施機関と位置付けられ、同分野の基礎研究から開発・利用に至るまで一貫して行っています。\*Explore to Realize。というコーポレートスローガンのもと、宇宙と空を活かし、安全で豊かな社会の実現を目指します。



6 年の旅は無事終了  
2014 年にロケットで打ち上げられて、3 年半かけてリュウグウに到着。1 年半程いろいろな作業をして、2019 年末にはリュウグウにさよなら。2020 年末にははやぶさ2が地球に帰ってきた。ついに地球や海、そして生命の進化が解明されていくね！

世界初の仕事がいっぱい  
最初の小惑星まで往復の旅ができるだけでもすごいんだけど、その作業が世界初だったりして、はやぶさ2は世界をリードしているって言うんだ。今回はクレーターをつくらせて、でき方を調べたり、地表と地中のサンプルまで持って帰ってきたんだ。

6mの幅に1度目の「タッチダウン(着地)」  
最初は直径100m程の広い場所に着地するつもりだったのに、落とした着地用の目印の近くの岩が

発行元  
OSTEC EXHIBITION HALL  
**大阪科学技術館**  
〒550-0004 大阪市西区堀本町 1 丁目 8 番 4  
号 TEL:06 (6441) 0915 FAX:06 (6443) 5310  
http://www.ostec.or.jp/pp/